

カナダ春期英語研修



←トロントの CN タワーにて撮影

僕は2019年3月3日から約1か月間、カナダのトロントにあるヨーク大学付属の語学学校に短期語学研修という形で行ってきました。なぜトロントを選んだのか、理由は大きく挙げて二つあります。一つは日本とは違い、非常に移民が多い街であるという事です。トロントは人口の6割が移民系の人々で多様な文化が共存しており、日本では感じる事の出来ない空気感を感じることが出来るのではないかと考えました。もう一つは治安の良さです。僕はそれまでの人生で海外に行った経験が一度しかなく不安だったため、世界の中でもトップレベルに治安が良いと言われているトロントが一番自分に合っているのではないかと考えました。実際にトロントに行くと、日本とは全然違う景色がそこにはありました。僕はホームステイではなく寮生活だったのですが、寮内には様々な国の出身の人たちがいて、それぞれが自分たちの生活を崩さずに生活している印象でした。寮内に日本という談話室の共同スペースがあるのですが、夜は仲間たちとお菓子や飲み物を持ち寄って夜遅くまで語り合うことが日課でした。寮は語学学校からも近く忘れ物をしてもし休み時間に取りに戻れて、とても便利でした。語学学校では10数人程度をークラスとして英語の授業が行われていました。単に英語の授業とは言っても周りに日本人が少ないので日本で受けるような英語の授業とは全く違い、先生が質問をしたら、答えを分かっている人が積極的に発言していくという授業形式で、発言をしていかないと理解していないと考えられてしまいます。語学学校に通い始めた頃は本場の英語を全く聞き取れず、先生の指示が分からなくて大変苦労しました。課題もたくさん出ましたがその中でも英語のドキュメンタリー映画を見てクラスの人たちの前で一時間近くプレゼンテーションをする課題はとても大変でし

た。反面、日本ではこのような課題をした経験が無かったので、自分の中で挑戦と位置付けたこの短期研修においてはとてもいい経験だったと言えるし、すごく自分の力になったと思います。僕は現地の人やヨーク大学の人と積極的に交流したかったので、ヨーク大学の JISA と呼ばれるヨーク大学生と日本人との交流や文化の勉強を主目的にしたサークルに参加して日本の漫画について語り合ったり、スポーツが好きなのでバトミントンサークルにも参加したりしました。現地でできた友達とロブスターを食べに行った事や、うどん屋さんに連れていってもらったことは一生の思い出です。現地で出来た友達と恋愛トークをした時はこの話題は世界共通で盛り上がる話題だと感じて、すごく面白いなと思いました。しかし、同時に自分の意志が正確に伝えられずにもどかしさがあると感じ、もっと自分に語彙力が有れば、より深い会話が出来たかもしれないと思いました。もし、これから海外留学を考えている人がいれば、リスニングと英単語の学習はしっかり行っていた方が良いです。でも、行った後で力不足を感じたとしても、その留学は無駄だったという事はありません。それを差し引いたとしても十分、自分自身にとっていい経験になることは間違いありません。僕自身としては NBA や MLB などの試合を現地観戦したことやナイアガラの滝を見れたことは北米でしかできない貴重な経験で自分にとって大切な思い出であるし、現地で出会ったたくさんの人たち優しさは忘れられません。また一か月向こうで暮らしたことは今まで実家暮らしだった僕にとっては非常に自信になりました。機会があれば再訪したいと思える素敵な留学先でした。この研修経験を活かして僕自身英語の勉強を頑張っていきたいと思います。